

70. こくていこうえん くにていこうえん につぼうかいがん 日豊海岸



DATA

撮影者 財津 敏郎
 撮影地 大分市佐賀関大黒（県道 635 号線）

【撮影者コメント】

平成 20 年度には「大野川鉄橋」が景観発見賞と第 1 回おおいた景観観望賞に、平成 23 年度には「府内 5 番街」が景観発見賞を受賞し、今回が三度目の応募になります。

佐賀関半島の関崎海星館方面から日本の渚百選「黒が浜」に通じる県道 635 号線佐賀関循環線（大字佐賀関）を進むと一気に視界が開け、眼下に豊後水道と日豊海岸を望めるビューポイントがあり、作品にはこのポイントから撮影しました。

日豊海岸は佐賀関半島から宮崎県北部（美々津海岸）にかけての海岸線で、1974 年（昭和 49 年）2 月 15 日国定公園に指定されました。延長約 120 km におよぶ海岸線は半島、湾入、島嶼断崖と続くリアス式海岸です。

大分市の日豊海岸は佐賀関灯台付近から南へ日本の渚百選の「黒が浜」、「ビシャゴ岩」「白が浜」などの名勝に恵まれた海岸を構成しています。写真の中央右に「黒が浜」の一部が、その先に「ビシャゴ岩」、鳶島が望めます。数艘の船は豊予海峡で関サバ・関アジの漁を終え、母港の佐賀関漁港に急ぐ漁船です。船の航跡が作品に躍動感を与えていると思います。

MAP

